

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	郡上市	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	川合村	平成28年度	平成30年度	平成30年4月2日～平成31年3月20日
3. 事業費(うち国費)	5,410,806円(5,410,806円)			
4. 第三者氏名	郡上市農業委員会 会長 岩田 英男			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) ・生産組合を1つから2つに増やすという目標は達成できなかったが、フキや朴葉の採取、下処理を行う地元グループ「座・小駄良」の活動は、嶺郡上八幡土里夢を加工処理能力を向上させる取組であり、目標達成に近い評価と思われる。また、遊休農地でエゴマ、フキを栽培することにより圃場の有効活用が図られ、栽培面積が年々拡張し、安定的な生産力に繋がっている。商品開発や栽培研修会、講演会に積極的に地元住民も参加され、地域一体となった取組が展開できている。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・エゴマ、フキ、朴葉の知識を高めるため、地元住民を対象に栽培研修会6回、講演会1回を開催し、更に、生産者の栽培意欲を向上するためのワークショップを4回実施している。また、エゴマを使った商品化に向けて、犬山城下町のエゴマ五平餅等の取り組みを視察し、試作品を地元のイベントで販売し好評を得て商品化に繋がった。年間の計画を着実に実施し、事業が展開できている。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・事業実施計画における農産物販売額、生産組合数の増加目標は、概ね達成された。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・川合東部地域づくり協議会が主となり山村活性化事業運営委員会を10回開催し、地元の各部門の代表者が集まり事業内容の協議をするなど、事業の推進に向けた事業実施体制が機能している。また、県郡上農林事務所農業普及課の指導による地元生産者向けの栽培研修を6回実施し、生産体制の強化が図られた。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	
④ その他				
・毎月、本事業の取組を紹介したチラシ「山活だより」が川合東部地域の全戸(451戸)に配布し事業啓発に寄与した。 ・平成30年6月7日に座・小駄良の取組みが新聞に掲載された。				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。